

▼ピブラマイシン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ドキシサイクリン塩酸塩水和物 (U) Doxycycline Hydrochloride Hydrate (DOXY) 【分類】テトラサイクリン系抗生物質

【単位】▼50mg・▼100mg/錠

【常用量】初日 200mg/日, 2日目から 100mg/日

【用法】初日は1日1~2回, 2日目から1日1回経口投与

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (1,12,Cunha BA, et al: Ther Drug Monit 4: 115-35, 1982)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (1,12)

【特徴】グラム陽性菌, グラム陰性菌, クラミジア属及び Q 熱リケッチアに対し, 蛋白合成阻害により抗菌力を発揮する. 抗菌スペクトルは, 他のテトラサイクリン系抗生物質とはほぼ同様であるが抗菌力は黄色ブドウ球菌を含むグラム陽性菌に対してより強力. 日本紅斑熱の重症例ではニューキノロンに DOXY や MINO を併用することがある.

【主な副作用・毒性】悪心・嘔吐, 食欲不振, ショック, アナフィラキシー, SJS, TEN, 薬剤過敏症候群, 偽膜性大腸炎, 肝障害, 血球減少, 発疹など

【吸収】ミルクや食物により tmax は延長するが吸収率は変わらない (1) 胃, 腸管 (特に十二指腸) から吸収される (1) 食事の影響をほとんど受けない (U)

【F】ほぼ完全に吸収される (Cunha BA, et al: Ther Drug Monit 4:115-135, 1982) 90~100% (U)

【tmax】2~4hr (1) 2hr (U) 【Cmax】200mg 投与3時間後に 4.27 μ g/mL (1)

【代謝】ほとんど代謝されない (1) 肝代謝を受ける (U)

【排泄】尿中回収率 15~30% [po,24hr まで] (1) 腎障害時には代償的に糞便中から排泄される (1) 尿中回収率 55.4%, 糞便中回収率 31.5% [72hr まで] (1) 尿中回収率 40% [72hr まで] (U)

【t1/2】15~22hr (1) 18~22hr (U)

【蛋白結合率】94.4% (1) 93% (U)

【Vd】HD 患者で 1.25±0.37 L/kg (1) 0.7L/kg (U)

【MW】512.94

【透析性】蛋白結合率が高く除去されない (1, Cunha BA, et al: Ther Drug Monit 4:115-135, 1982) 経口投与量の 13.2~9.2%が除去 (1)

【相互作用】金属カチオン製剤: 吸収阻害 (1)

【更新日】20220511

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。